

各機関の迅速測定結果（令和7年2月5日現在）

【最新状況】（土・日・祝日公表分は原則として翌営業日に更新、下線は更新箇所）

■ 東京電力

詳しくは[こちら](#)（東京電力 トリチウムの迅速測定の分析結果）

【海水】

【発電所から3km以内】

2月3日に福島第一原子力発電所から3km以内10地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、すべての地点においてトリチウム濃度は検出下限値未満（5.8～7.2 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である700 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や350 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

【発電所正面の10km四方内】

2月3日に福島第一原子力発電所正面の10km四方内1地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、トリチウム濃度は検出下限値未満（7.1 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である30 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や20 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

■ 環境省

詳しくは[こちら](#)（環境省ホームページ）

【海水】

1月21日に福島県沿岸の3測点にて採取した海水試料を分析（迅速測定）した結果、すべての測点において、海水のトリチウム濃度は検出下限値未満（8 ベクレル/リットル未満）であり、人や環境への影響がないことを確認しました。
（環境省）

■ 水産庁

詳しくは[こちら](#)（水産庁ホームページ）

【水産物】

2月4日午前にALPS処理水放出口の北側約4kmで採取されたヒラメ及び同放出口の南側約5kmで採取されたヒラメのトリチウム迅速分析の結果、いずれの検体も検出下限値未満（8.2 ベクレル/kg 未満）であることを確認しました。
（水産庁）

■ 福島県

詳しくは[こちら](#)（福島県ホームページ）

【海水】

1月24日（金）採水：全9測点で検出下限値未満（3.8～4.5Bq/L 未満）であり、人や環境への影響がないことを確認しました。（福島県）

<参考>

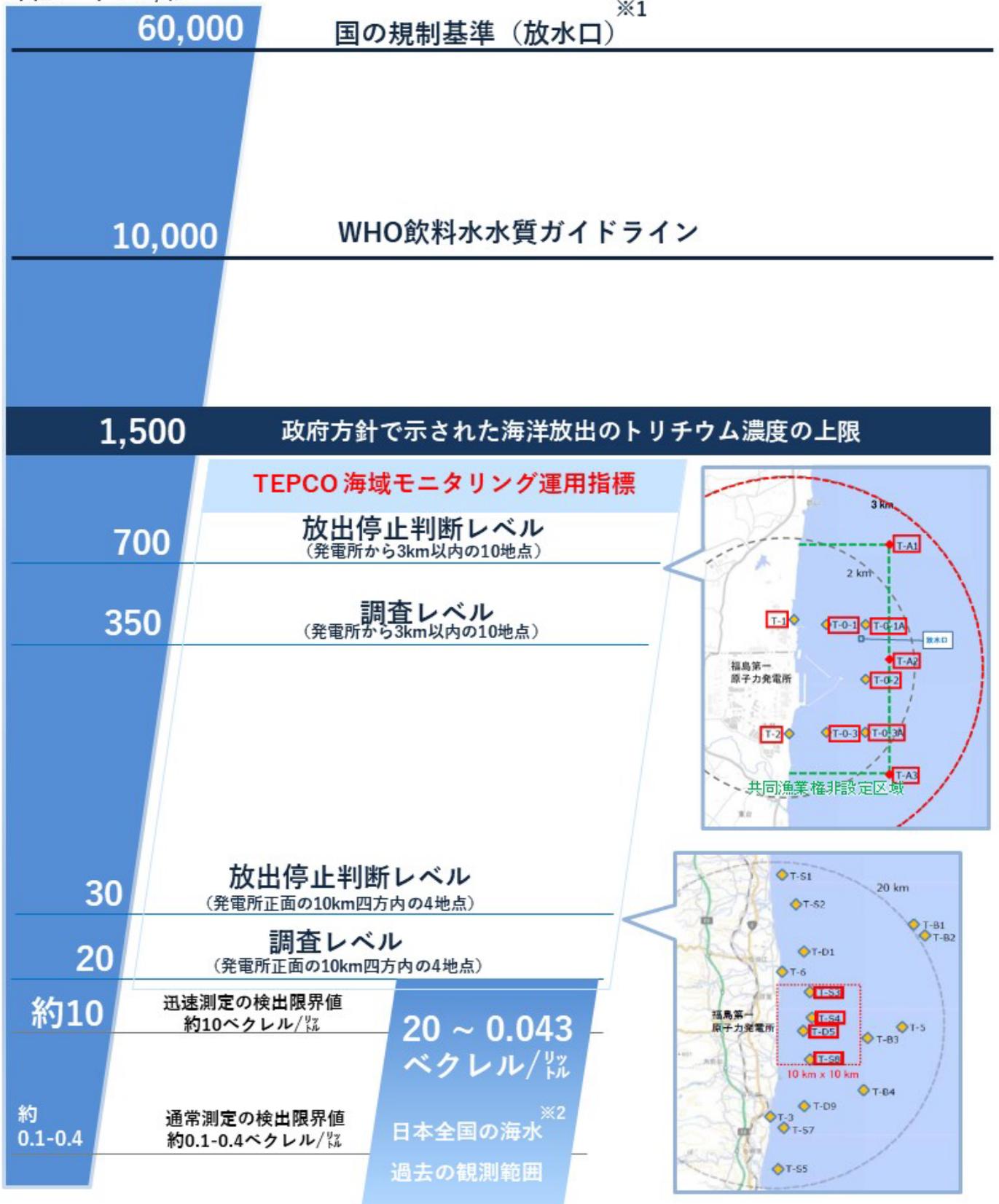
放出前の福島県沖の海水中トリチウム濃度は 0.1～1 ベクレル／リットル程度

WHO 飲料水ガイドライン 10,000 ベクレル／リットル

○本資料は、各機関・当社が実施した海域モニタリング（迅速測定）の結果を、各機関の公表内容をもとにとりまとめたものです。各機関の測定結果に関するお問い合わせは、各機関にお願いいたします。

【参考】海水のトリチウム濃度の比較

単位：ベクレル/ℓ



※1：原子力施設の放水口から出る水を、毎日、その濃度で約2ℓ飲み続けた場合、一年間で1ミリシーベルトの被ばくとなる濃度から定められた基準
 ※2：出典『日本の環境放射能と放射線』（期間：2019/4～2022/3）

各機関における過去の迅速測定結果

[〈ページ内リンク：各機関における当四半期データの先頭へ〉](#)

[東京電力](#)

[環境省](#)

[水産庁](#)

[福島県](#)

東京電力の迅速測定結果（各四半期をクリック）

[2024年度第4四半期（ページ内リンク）](#)

[2024年度第3四半期（PDF）](#)

[2024年度第2四半期（PDF）](#)

[2024年度第1四半期（PDF）](#)

[2023年度第4四半期（PDF）](#)

[2023年度第3四半期（PDF）](#)

[2023年度第2四半期（PDF）](#)

環境省の迅速測定結果（各四半期をクリック）

[2024年度第4四半期（ページ内リンク）](#)

[2024年度第3四半期（PDF）](#)

[2024年度第2四半期（PDF）](#)

[2024年度第1四半期（PDF）](#)

[2023年度第4四半期（PDF）](#)

[2023年度第3四半期（PDF）](#)

[2023年度第2四半期（PDF）](#)

水産庁の迅速測定結果（各四半期をクリック）

[2024年度第4四半期（ページ内リンク）](#)

[2024年度第3四半期（PDF）](#)

[2024年度第2四半期（PDF）](#)

[2024年度第1四半期（PDF）](#)

[2023年度第4四半期（PDF）](#)

[2023年度第3四半期（PDF）](#)

[2023年度第2四半期（PDF）](#)

福島県の迅速測定結果（各四半期をクリック）

[2024年度第4四半期（ページ内リンク）](#)

[2024年度第3四半期（PDF）](#)

[2024年度第2四半期（PDF）](#)

[2024年度第1四半期（PDF）](#)

[2023年度第4四半期（PDF）](#)

[2023年度第3四半期（PDF）](#)

[2023年度第2四半期（PDF）](#)

[〈（リンク）処理水ポータルサイト：放出実績はこちら〉](#)

東京電力の迅速測定結果（2024 年度第 4 四半期）

[これ以前の四半期毎の過去データはこちら](#)

【海水】

<2 月 4 日公表>

【発電所から 3 km以内】

2 月 3 日に福島第一原子力発電所から 3km 以内 10 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、すべての地点においてトリチウム濃度は検出下限値未満（5.8～7.2 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 700 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 350 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

【発電所正面の 10km 四方内】

2 月 3 日に福島第一原子力発電所正面の 10km 四方内 1 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、トリチウム濃度は検出下限値未満（7.1 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 30 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 20 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

<1 月 30 日公表>

【発電所から 3 km以内】

1 月 29 日に福島第一原子力発電所から 3km 以内 4 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、すべての地点においてトリチウム濃度は検出下限値未満（7.2～7.6 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 700 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 350 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

【発電所正面の 10km 四方内】

1 月 29 日に福島第一原子力発電所正面の 10km 四方内 1 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、トリチウム濃度は検出下限値未満（7.7 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 30 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 20 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

<1 月 21 日公表>

【発電所から 3 km以内】

1 月 20 日に福島第一原子力発電所から 3km 以内 4 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、すべての地点においてトリチウム濃度は検出下限値未満（7.0～7.4 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 700 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 350 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

【発電所正面の 10km 四方内】

1 月 20 日に福島第一原子力発電所正面の 10km 四方内 1 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、トリチウム濃度は検出下限値未満（7.4 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 30 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 20 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

<1 月 17 日公表>

【発電所正面の 10km 四方内】

1 月 15 日に福島第一原子力発電所正面の 10km 四方内 1 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、トリチウム濃度は検出下限値未満（6.6 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 30 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 20 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

<1 月 14 日公表>

【発電所から 3 km以内】

1 月 13 日に福島第一原子力発電所から 3km 以内 4 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、すべての地点においてトリチウム濃度は検出下限値未満（6.3～7.4 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 700 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 350 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

【発電所正面の 10km 四方内】

1 月 13 日に福島第一原子力発電所正面の 10km 四方内 1 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、トリチウム濃度は検出下限値未満（6.3 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 30 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 20 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

<1 月 10 日公表>

【発電所正面の 10km 四方内】

1 月 8 日に福島第一原子力発電所正面の 10km 四方内 2 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、どちらの地点においてもトリチウム濃度は検出下限値未満（6.9 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 30 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 20 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

<1 月 7 日公表>

【発電所から 3 km以内】

1 月 6 日に福島第一原子力発電所から 3km 以内 10 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、すべての地点においてトリチウム濃度は検出下限値未満（5.8～7.7 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用

指標である 700 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 350 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

【発電所正面の 10km 四方内】

1 月 6 日に福島第一原子力発電所正面の 10km 四方内 1 地点にて採取した海水のトリチウム濃度の迅速な測定を行った結果、トリチウム濃度は検出下限値未満（7.7 ベクレル/リットル未満）であり、当社の運用指標である 30 ベクレル/リットル（放出停止判断レベル）や 20 ベクレル/リットル（調査レベル）を下回っていることを確認しました。

以上

[（東京電力）2024 年度第 4 四半期の先頭へ](#)

[各機関における過去の迅速測定結果の先頭へ](#)

[本文書の先頭へ](#)

環境省の迅速測定結果（2024 年度第 4 四半期）

[これ以前の四半期毎の過去データはこちら](#)

【海水】

<1 月 28 日公表>

1 月 21 日に福島県沿岸の 3 測点にて採取した海水試料を分析（迅速測定）した結果、すべての測点において、海水のトリチウム濃度は検出下限値未満（8 ベクレル/リットル未満）であり、人や環境への影響がないことを確認しました。

（環境省）

以上

[（環境省）2024 年度第 4 四半期の先頭へ](#)

[各機関における過去の迅速測定結果の先頭へ](#)

[本文書の先頭へ](#)

水産庁の迅速測定結果（2024 年度第 4 四半期）

[これ以前の四半期毎の過去データはこちら](#)

【水産物】

<2 月 5 日公表>

2 月 4 日午前に ALPS 処理水放出口の北側約 4km で採取されたヒラメ及び同放出口の南側約 5km で採取されたヒラメのトリチウム迅速分析の結果、いずれの検体も検出下限値未満（8.2 ベクレル/kg 未満）であることを確認しました。

（水産庁）

<1 月 29 日公表>

1 月 26 日午前に ALPS 処理水放出口の北側約 4km で採取されたヒラメ及び同放出口の南側約 5km で採取されたマコガレイのトリチウム迅速分析の結果、いずれの検体も検出下限値未満（8.5 ベクレル/kg 未満）であることを確認しました。（水産庁）

<1 月 22 日公表>

1 月 21 日に ALPS 処理水放出口の北側約 4km で採取されたヒラメ及び同放出口の南側約 5km で採取されたヒラメのトリチウム迅速分析の結果、いずれの検体も検出下限値未満（7.9 ベクレル/kg 未満）であることを確認しました。

（水産庁）

<1 月 15 日公表>

1 月 12 日に ALPS 処理水放出口の北側約 4km で採取されたヒラメ及び同放出口の南側約 5km で採取されたヒラメのトリチウム迅速分析の結果、いずれの検体も検出下限値未満（9.1 ベクレル/kg 未満）であることを確認しました。

（水産庁）

<1 月 8 日公表>

1 月 6 日に ALPS 処理水放出口の北側約 4km で採取されたヒラメ及び 1 月 7 日に同放出口の南側約 5km で採取されたヒラメのトリチウム迅速分析の結果、いずれの検体も検出下限値未満（8.0 ベクレル/kg 未満）であることを確認しました。（水産庁）

以上

[（水産庁）2024 年度第 4 四半期の先頭へ](#)

[各機関における過去の迅速測定結果の先頭へ](#)

[本文書の先頭へ](#)

福島県の迅速測定結果（2024 年度第 4 四半期）

[これ以前の四半期毎の過去データはこちら](#)

【海水】

<1 月 29 日公表>

1 月 24 日（金）採水：全 9 測点で検出下限値未満（3.8～4.5Bq/L 未満）であり、人や環境への影響がないことを確認しました。（福島県）

以上

[（福島県）2024 年度第 4 四半期の先頭へ](#)

[各機関における過去の迅速測定結果の先頭へ](#)

[本文書の先頭へ](#)